

第3章

地震・風水害に対する日ごろの備え



阪神・淡路大震災の死因は、家屋の倒壊や家具の転倒などによる圧迫死が大半を占めていました。そうならないためには、あなたの家の内外を点検し、いざというときのために備えることがとても大切です。

阪神・淡路大震災での死亡原因



家屋倒壊や家具の転倒などによる圧迫死が大半を占めています！

消防庁「消防白書」より



家族で防災会議を開こう

地震の被害を小さくするためには日頃からの備えが大切です。身の回りの安全について家族で考えましょう。

1 家族一人ひとりの役割を決める

家族で話し合って、災害発生時の役割を決めておきましょう。

- 火を消す
- ガスの元栓を閉める
- 子どもやお年寄りの安全を確認する
- 危険物を安全なところへ移す
- 消火器、バケツなどを準備する
- 電気器具のコンセントを抜く、ブレーカーを切る
- ラジオ・テレビなどで情報を確認する
- 出入口を確保する
- 非常持ち出し品を確認する
- すぐに戻ってこられない家族へ伝言を書いておく
- 家の前に行先や連絡先を書いた紙を貼っておく

2 危険個所をチェックする

家の内外に危険個所がないかどうかチェックしましょう。危ない場所は、修理や補強について話し合いましょう。

3 「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」をチェックする

必要な物品がそろっているか確認します。また、定期的に保存状態や消費期限を点検し、必要なら交換しましょう。(右ページ参照)

4 防災用具をチェックする

消火器や救急箱を確認しましょう。消火器の使い方や応急手当の方法(28~30ページ参照)を覚えておきましょう。

5 緊急連絡カードを用意する

家族の避難場所や集まる場所、家族の連絡方法などを話し合い、決めたことは緊急連絡カードとして記入したものを携帯するようしましょう。(巻末参照)



6 わが家の防災マップをつくろう

家族で避難場所や避難路などを確認し、わが家の防災マップを作成しましょう。
(31ページ参照)

あなたの家の耐震性能はだいじょうぶですか？

あなたは家屋の耐震診断、耐震改修などの対策をしましたか？特に昭和56年(1981年)5月31日

■建設時期と地震被害状況(JR三宮駅近辺における全数調査)

昭和56年(1981年)以前の建築

大破・倒壊
29%

中破・小破
37%

無被害・軽微
34%

昭和57年(1982年)以降の建築

大破・
倒壊
9%

中破・
小破
16%

無被害・軽微
75%

(「平成7年阪神・淡路大震災調査委員会中間報告」(建設省)に基づき作成)

●非常持ち出し品

チェックしよう!

基本品目32点

※大人2人分の目安

- 非常持ち出し袋 1個
- 缶入り乾パン（110g） 2個
- 飲料水（500mlペットボトル） 6本
- 懐中電灯 2個
- ローソク 2本
- ライター 2個
- 携帯ラジオ 1台
- 十徳ナイフ 1本
- 軍手・手袋 2組
- ロープ 5m～ 1本

- 救急袋 1枚
- 毛抜き※ 1本
- 消毒液※ 1本
- 脱脂綿※ 適当量
- ガーゼ（滅菌）※ 2枚
- ばんそうこう※ 10枚～
- 包帯※ 2巻
- 三角巾※ 2枚
- マスク※ 2枚
- 常備薬・持病薬など※ 適当量
- レジャーシート 1枚

- サバイバルブランケット 2枚
- 簡易トイレ 2枚～
- タオル 4枚～
- ポリ袋 10枚
- トイレットペーパー 1ロール
- ウェットティッシュ 2個
- 現金（公衆電話用の小銭）約50枚
- ガムテープ（布製） 1個
- 油性マジック（太） 1本
- 筆記用具 1セット
- 生理用品

※は救急袋の中に入れておく。

個人や家庭の事情にあわせ備えを検討するもの

必需品・貴重品類

- 車や家の予備鍵
- 健康保険証（写）
- 予備メガネ・コンタクトレンズ等
- 運転免許証（写）
- 預金通帳（写）
- パスポート・外国人登録証（写）
- 支援プラン（巻末）

赤ちゃん用品

- 粉ミルク
- スプーン
- 紙おむつ
- ベビーカー
- 哺乳瓶
- 洗浄綿
- 母子手帳
- おんぶひも
- おやつ
- バスタオル
- 玩具
- 毛布
- 離乳食
- ガーゼ
- 着替え

高齢者用品

- 高齢者手帳
- 予備メガネ
- おむつ
- 看護用品
- 着替え
- 持病薬



女性は
約10kg
が目安。
男性は
約15kg
が目安。

※あくまで目安です。自分で持つて避難できる量にしましょう。

避難後に少し余裕がでてから安全を確認して自宅へ戻り持ち出したり、自宅で避難生活を送るうえで必要なもので、救援物資が届くまで1週間程度、自足するつもりで備えましょう。



●家庭に備えておくもの

非常備蓄品

- 飲料
 - 飲料水（2Lペットボトル）
 - 非常用給水袋
- 食料
 - アルファ米
 - 乾パン
 - パン缶
 - インスタントラーメン
 - 缶詰類
 - レトルト食品
 - スープ
 - 味噌汁
 - ビスケット
 - キャンディ
 - チョコレート
 - 塩
- 衣類
 - 上着
 - 下着
 - 靴下
- 生活用品
 - タオル
 - バスタオル
 - 毛布
 - 雨具
 - 予備電池
 - 卓上コンロ
 - ガスボンベ
 - 固形燃料
 - 鍋
 - ラップ
 - アルミホイル
- その他
 - ブルーシート
 - ガムテープ（布製）

以前の旧耐震基準で建てられた建物は、地震に対して強度がどの程度か調べることが重要です。

「耐震診断」、「耐震改修」を応援します

お住まいに不安がある場合は専門家に診断を依頼し、強度が不足していれば耐震改修を行う必要があります。

大阪市には、震災に強いまちづくりをめざし、耐震診断・改修費用の一部を補助する制度があります。

詳しくは、大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口（TEL6882-7053 FAX6882-0877）にお問い合わせください。

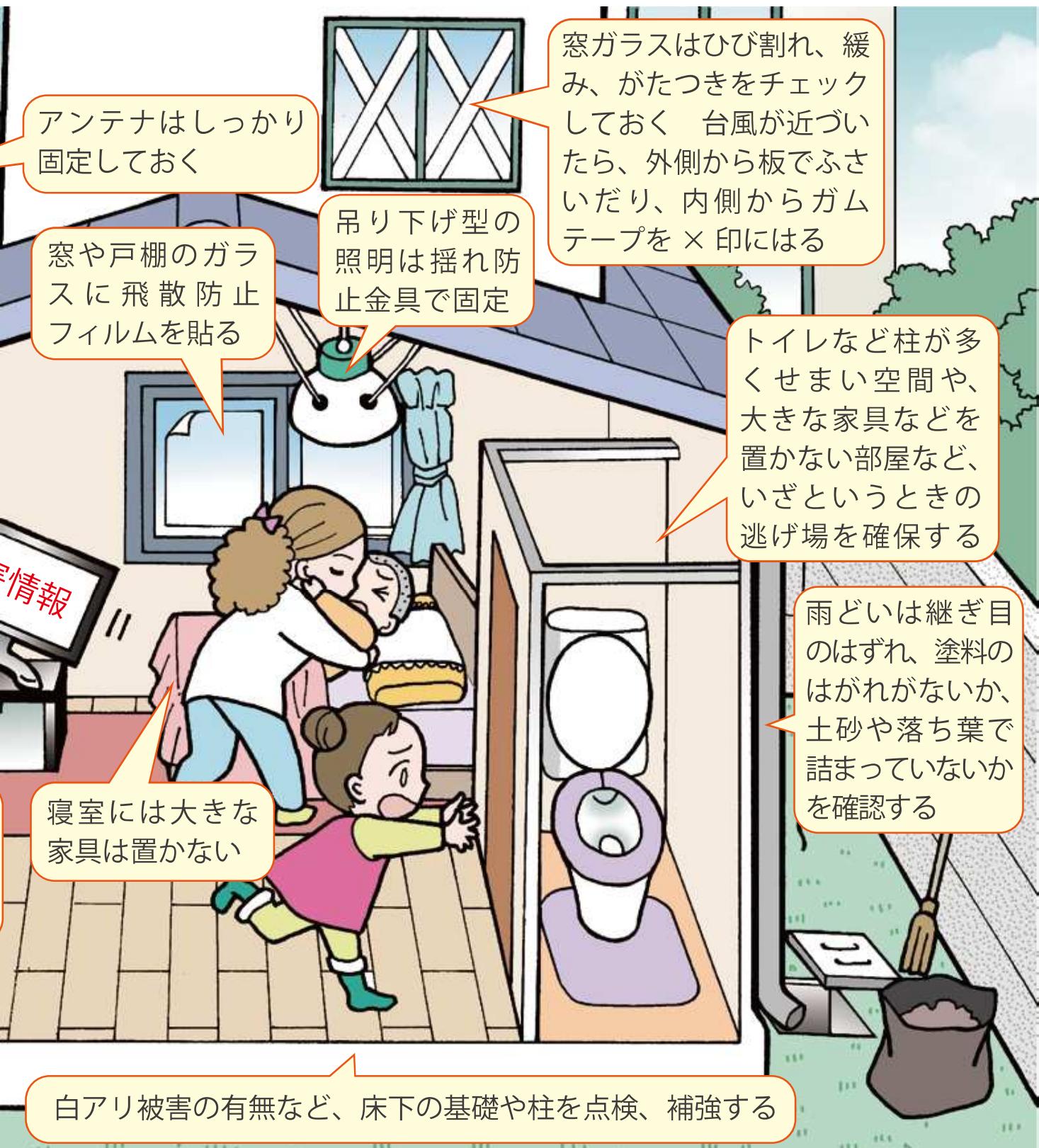
あなたの家の安全対策

定期的に家の中や周囲をチェックしておきましょう。
台風の場合などで、風雨が強まってから屋根などの補強



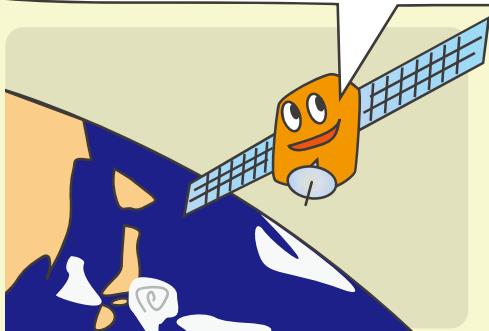
はだいじょうぶですか？

をするのは非常に危険です。絶対にやめましょう。



もしものときに備えて

わからない事があったときはこちらへアクセスしてね。



大阪市危機管理室

TEL : 6208-7388 FAX : 6202-3776
<http://www.city.osaka.lg.jp/kikikanrishitsu/>

危機管理室ホームページでは、地震や風水害に対する日ごろからの備えや避難場所などを紹介しているほか、災害時には被害状況や対応状況などの緊急情報を提供します。
各区の「防災マップ」も掲載しています。



大阪市消防局

<http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/>
地震、火災発生などの非常時の対応や、救急に関する情報など。
キッズ用ページ（キッズルーム）もあります。



各区役所

地域ごとの防災マップ作成や出前講座を行うなど、特色ある取り組みがなされています。区のホームページなどをご覧ください。

大阪市建設局（降雨情報）

<http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/>
市内の雨の量などの情報がご覧いただけます。



おおさか防災ネット

<http://www.osaka-bousai.net/osaka/>
地震・津波・台風情報や気象に関する注意報・警報、府内に発表される避難勧告や指示情報、ライフライン情報へのリンクなど幅広い防災情報を提供しています。
また、携帯メールアドレスを「防災情報メール」に登録しておくと、気象・地震・津波情報などがメールで配信されます。
登録方法／解除したい場合も同じ方法です。
[touroku@osaka-bousai.net]へ空メールを送信すると登録（解除）用メールが送られてきます。バーコードリーダー機能付き携帯ならQRコードを読み取り送信してください。



総務省消防庁

<http://www.fdma.go.jp/>

e-カレッジ

<http://www.e-college.fdma.go.jp/>

さまざまなコースやテーマごとに学習でき、子ども向けのコースもあります。

消防防災博物館

<http://www.bousaihaku.com/>

いざというときの情報から専門的知識まで満載のインターネット上のミュージアム。

内閣府防災情報

<http://www.bousai.go.jp/>

国内各地の災害情報や国の各種施策を掲載。

気象庁

<http://www.jma.go.jp/jma/>

防災気象情報・気象等の知識について掲載。

国土交通省 防災情報提供センター

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

川の防災情報ほか国土交通省の保有する防災情報を提供。

地震調査研究推進本部（文部科学省関連）

<http://www.jishin.go.jp/main/>

毎月の地震活動や発生する確率などの評価を調査。

・（子ども向け）「地球キッズ探検隊」 地震の謎にせまる。

<http://www.jishin.go.jp/kids/>

財務省 地震保険のページ

http://www.mof.go.jp/financial_system/earthquake_insurance/jisin.htm

地震保険の内容や保険料について掲載しています。

大阪市ボランティア・市民活動センター

<http://www.osakacity-vnet.or.jp/>

日本赤十字社大阪府支部

<http://www.osaka.jrc.or.jp/>

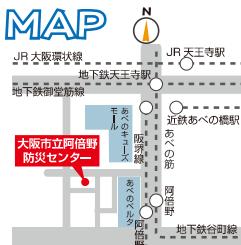
「知る」「学ぶ」

行ってみよう！

大阪市立阿倍野防災センター

大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-13-23 あべのフルサ3階
TEL : 6643-1031 FAX : 6643-1040
<http://www.abeno-bosai-c.city.osaka.jp/>

地震発生直後の街並みなどを体感し、消火・避難・救助といった一連の行動をリアルに体験することができる施設です。あなた自身や家族を守り、街を守り、人を助けることができる「体験」を通じて災害について考え、学んでみませんか。



- ご利用：無料
- 開館時間：10時から 18時
- 休館日：水曜日、毎月最終木曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12/28～1/4）

津波・高潮ステーション

大阪市西区江之子島2-1-64
TEL : 6541-7799 FAX : 6541-7760
<http://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/tsunami/>

かつて大阪を襲った高潮や近い将来必ず大阪を襲うと言われている東南海・南海地震とともに、地震・津波発生時の対応などを学べる広く開かれた施設です。



阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

神戸市中央区浜海海岸通1-5-2
TEL : 078-262-5050
FAX : 078-262-5055
<http://www.dri.ne.jp/>
阪神・淡路大震災の経験と教訓を映像や実物資料展示などにより後世に伝え、防災のあり方について学ぶことのできる施設。資料室以外は有料。



災害情報をお知らせします

緊急地震速報

気象庁では、強い揺れが到達する前に地震の発生をお知らせする、緊急地震速報を提供しています。最大震度5弱以上と推定した地震の際に、震度4以上の地域へ強い揺れが来る数秒～数十秒前にお知らせするものです。テレビで「まもなく強い揺れがきます」などというテロップが流れるなどの予告が行われますので、身を守るために適切な行動がすばやくできるように日頃から考えておきましょう。



緊急速報メール

大阪市では携帯電話各社の緊急速報メールサービスを利用して、災害発生における避難勧告や指示などの緊急情報を大阪市内の携帯電話等に一斉配信します。

- 受信料は無料です。
- 受信すると専用着信音が流れ、内容がポップアップ表示されます。
- 一時的にエリア内にいる来阪者も情報が受信できます。

電話が使えないとき・・・

大規模な災害時には、一般電話や携帯電話の通話が制限されます。

NTTの災害用伝言ダイヤルや携帯電話の災害伝言板を活用して、家族や友人に連絡しましょう。

① 災害伝言ダイヤル 171

NTT西日本（一般電話：音声）

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言を登録・再生できます。



② 災害伝言板

安否情報を登録すると、家族や友人が携帯番号やパソコンから確認できます。詳しくは、各社のホームページなどをご覧ください。

携帯電話 災害伝言板

<NTTドコモ>

<http://dengon docomo.ne.jp/top.cgi>

<a u>

<http://dengon.ezweb.ne.jp/>

<ソフトバンクモバイル>

<http://dengon.softbank.ne.jp/>

<ワイモバイル>

<http://dengon.emnet.ne.jp/>

※ワイモバイル電話からは、災害用伝言板アプリからアクセスできます。

パソコン（テキスト、音声、画像）

<NTT西日本>

「災害用ブロードバンド伝言板（web171）」

<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

※これらのサービスは、毎月1日と15日、正月三が日（1月1日～1月3日）、防災週間（8月30日～9月5日）、防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）に体験利用ができますので、災害発生に備えて利用方法を事前に覚えておきましょう。

※携帯電話の機種により受信できない場合や、あらかじめ受信設定が必要な場合があります。

※緊急速報メール受信可能機種及び受信するための設定方法については各社のホームページをご覧ください。

<NTTドコモ> <https://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/>

<a u> <http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/>

<ソフトバンクモバイル> http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/